学校番号	315

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	詳説世界史 改訂版(山川出版)						
副教材等	『最新世界史図説タペストリー（20 訂版）』 『Winning COM.-PASS ウィニングコンパス　世界史の整理と演習』						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・諸王朝の興亡や文化の成立・発展が、現代どのような影響を与えているかを意欲的に追求する。
・諸地域の民族・王朝・文化の特色や発展の過程、地域間のネットワークが果たした役割を知る。
・与えられた資料や地図、図版を、理解および考察を深めるために主体的に活用する。

2　学習の到達目標

・世界の歴史に関心を持ち、意欲的に追求するとともに、現代の世界に対する課題意識を高める。
・文化の多様性・複合性や現代世界の特質を広い視野から考察し、歴史的思考力を培う。
・世界の歴史の大きな枠組みや展開を、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解する。
・上記目標に到達するにあたり、必要な諸資料を選択し、適切に活用する力を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の歴史に関心を持ち、意欲的に取り組むとともに、現代の世界に課題意識を持って臨み、これからの国際社会を担う一員としての責務を主体的に果たそうとしている。	文化の多様性・複合性や現代世界の特質を広い視野から多角的に考察し、公正な判断力および歴史的思考力を培う。	世界の歴史を理解し、考察するために必要な諸資料を選択・収集し、適切に読み取ったうえで、図表などにまとめることができている。	各民族の成立や発展、諸地域におけるネットワークの展開等を学び、世界の歴史の大きな枠組みや展開を、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解する。
評価方法	・授業中の取り組み ・ワークノート ・プリント課題 ・定期考査	・授業中の取り組み ・ワークノート ・プリント課題 ・定期考査	・授業中の取り組み ・ワークノート ・プリント課題 ・定期考査	・発問評価 ・定期考査
	［主題学習］ レポート課題	［主題学習］ レポート課題	［主題学習］ レポート課題	［主題学習］ レポート課題

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	先史の世界	・人類の進化 ・農耕・牧畜の開始と国家の誕生 ・人類と言語の分化	○	○	○ ○	 ○ ○	a:人類の進化とその特徴について、関心をもって学習しようとしている。 b:人類の進化の過程、農耕・牧畜の開始の意義などを多角的に考察する。 c:教科書に掲載されている諸言語の系統分類表などを適切に活用している。 d:文明の成立、人類と言語の分化に関する基本的な知識を身につけている。	・授業中の取り組み ・ワークノート ・定期考査
	オリエントと地中海世界	・古代オリエント世界 ・ギリシア世界 ・ローマ世界	○ ○	○	 ○ ○	○ ○	a:オリエントの古代文明が果たした役割、およびエーゲ文明、ギリシア文明の意義、さらにローマ世界の特色とキリスト教発展の意義を意欲的に探求しようとしている。 b:オリエントの古代文明、民主政治、アレクサンドロスの遠征、ローマの文明と後のヨーロッパ文明との繋がりが後の世界に与えた影響を考察する。 c:各地域や文明の資料や図版、写真、一覧表および新約聖書等の諸資料を適切に活用している。 d:オリエント世界の展開やイラン人王朝の活動、地中海一帯の地理的特質とギリシア文明の形成、ローマ帝国や、ローマ法、キリスト教等について、基本的な知識を身につけている。	・授業中の取り組み ・発問評価 ・ワークノート ・課題プリント ・定期考査

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
2学期	アジア・アメリカの古代文明	・インドの古代文明 ・東南アジアの諸文明 ・中国の古典文明 ・南北アメリカ文明	○ ○ 	 ○ ○	○ ○	 ○ ○ 	a:インダス文明やアーリヤ人諸国家、中華文明形成期の社会・文化の特質を追求しようとしている。 b:ヒンドゥー教やカースト制、仏教の伝播が与えた影響や、中国を中心とする東アジア世界の骨格形成、唐代の国家制度や文化が果たした意義について、多角的に考察している。 c:各王朝の領域図や資料、写真、図版を適切にかつようしている。 d:ヒンドゥー教やカースト制の特徴や仏教伝播の過程、中国諸王朝のなかで形成された文化や世界の諸地域との繋がりを理解し、その基本的な知識を身につけている。	・授業中の取り組み ・発問評価 ・ワークノート ・定期考査
	内陸アジア世界と東アジア世界の形成	・草原の遊牧民とオアシスの定住民 ・北方民族の活動と中国の分裂 ・東アジア文化圏の形成	 ○ 	○ ○	 ○ 	○ ○	a:騎馬遊牧民による国家の活動や、中国諸王朝の動向を、隣接地域の文明と対比、あるいは関連付けながら学習しようとしている。 b:内陸アジア東部に進出した騎馬遊牧民の動向や、中国諸王朝が彼らとの間に形成した関係を多角的に考察し、把握する。 c:内陸アジアの地勢図や図版、中国諸王朝の移り変わりを示した地図、唐の国際性を象徴する資料を、適切に活用している。 d:騎馬遊牧民族と中国王朝との関係性の変容や、中国を中心とした文化圏の広がりを理解し、その基本的な知識を身につけている。	・授業中の取り組み ・発問評価 ・ワークノート ・定期考査

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
2学期	イスラーム世界の形成と発展	・イスラーム世界の成立 ・イスラーム世界の発展 ・インド・東南アジア・アフリカのイスラーム世界 ・イスラーム文明	○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○	 ○ ○	a:イスラームの特質やイスラーム世界の分裂と変容について、関心を持って学習しようとしている。 b:諸地域のイスラーム化やイスラーム文明の与えた影響を、現代の国際政治・社会の視点から考察している。 c:図版や写真、音楽、細密画等を活用し、イスラーム文明に触れることができている。 d:イスラームの特質や形成過程、および諸地域のイスラーム化の過程について、基本的な知識を身につけている。	・授業中の取り組み ・発問評価 ・ワークノート ・課題プリント ・定期考査
	ヨーロッパ世界の形成と発展	・西ヨーロッパ世界の成立 ・東ヨーロッパ世界の成立 ・西ヨーロッパ中世世界の変容 ・西ヨーロッパの中世文化	○ ○ 	 ○	 ○ ○	○ ○ ○ 	a:ビザンツ帝国の特色や西ヨーロッパ世界の形成および発展について、関心を持って学習しようとしている。 b:中世ヨーロッパ文化の特質とその歴史的位置づけを、多角的に考察している。 c:中世都市の地図や教会建築を適切に活用している。 d:中世都市と商業の発展、西ヨーロッパ封建社会の変容に関する基本的な知識を身につけている。	・授業中の取り組み ・発問評価 ・ワークノート ・課題プリント ・定期考査

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
2学期	内陸アジア世界・東アジア世界の展開	・トルコ化とイスラーム化の進展 ・東アジア諸地域の自立化 ・モンゴルの大帝国	○ ○	 ○ 	○ ○	 ○ ○	a:宋と周辺諸国の関係、モンゴル帝国が掌握したネットワークとその影響について意欲的に学ぼうとしている。 b:東アジア文化圏の統合力の変化や、モンゴル帝国が陸海上ネットワークを支配下においた意味を考察している。 c:諸民族の文字やモンゴル帝国の領域図等を、適切に活用している。 d:宋の統治体制とその社会・経済・文化の発展、モンゴル帝国の支配がもたらした諸地域への影響に関する基本的な知識を身につけている。	・授業中の取り組み ・発問評価 ・ワークノート ・定期考査
	アジア諸地域の繁栄	・東アジア世界の動向 ・清代の中国と隣接諸地域 ・トルコ・イラン世界の展開 ・ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展	○ 	○ ○ 	 ○ ○ ○	○ ○ ○	a:トルコ・イラン・インドのイスラーム帝国の興隆と、明・清代の中国と諸地域の動向について、関心をもって学習しようとしている。 b:各イスラーム諸王朝の支配の特色や共通点、明・清朝と近隣諸地域との関係の変化を考察し、まとめている。 c:14～18世紀の東アジア・東南アジア諸国についての地図や年表、図版を適切に活用している。 d:各イスラーム帝国の統治体制や異教徒との関わり、明・清朝の統治や宣教師によってもたらされた文化の特色について、基本的な知識を身につけている。	・授業中の取り組み ・発問評価 ・ワークノート ・定期考査

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
2学期	近世ヨーロッパ世界の形成	・ヨーロッパ世界の拡大 ・ルネサンス ・宗教改革 ・ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成	○	○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	a:新航路の開拓や征服活動やルネサンスに関して、意欲的に学習しようとしている。 b:大航海時代を世界の一体化を資本主義経済発達の基盤と関連づけて考察している。 c:大航海の航路やルネサンスの作品群、新旧両教派の分布図を適切に活用している。 d:大航海時代の征服事業の過程や、宗教改革および各国の国家形成に関する基本的な知識を身につけている。	・授業中の取り組み ・発問評価 ・ワークノート ・定期考査
	近世ヨーロッパ世界の展開	・重商主義と啓蒙専制主義 ・ヨーロッパ諸国の海外進出 ・17～18 世紀のヨーロッパの文化と社会	○	○	 ○ ○	○ ○	a:宗教改革の背景や影響、国家間の抗争、東ヨーロッパの台頭について、関心を持って学習しようとしている。 b:ヨーロッパ諸国の勢力交代とその後の植民地争奪戦争を、重商主義と関連づけて考察している。 c:諸国の領域図、王家の系図等の資料を活用している。 d:ヨーロッパ各地の経済及び抗争についての基本的な知識を身につけている。	・授業中の取り組み ・発問評価 ・ワークノート ・課題プリント ・定期考査

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
2学期	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立と近代国民国家の発展	・産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命とナポレオン ・ウィーン体制の成立 ・ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生 ・南北アメリカの発展 ・19 世紀欧米の文化	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a: 産業革命やアメリカ独立、フランス革命などの背景と影響を、関心を持って学習しようとしている。 b: 資本主義体制の確立や近代市民革命が、現代世界に与えた影響にについて考察している。 c: アメリカ独立革命、フランス革命、ウィーン体制についての地図や図版、資料を適切に活用している。 d:資本主義体制が世界市場に与えた影響や近代市民革命の経過、ウィーン体制の成立と崩壊について基本的な知識を身につけている。	・授業中の取り組み ・発問評価 ・ワークノート ・定期考査
	アジア諸地域の動揺	・オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容 ・南アジア・東南アジアの植民地化 ・東アジアの激動	 ○	 ○	○ ○	○ ○	a:アジア諸国における支配体制の動揺とその影響について、意欲的に学習しようとしている。 b:アジア諸国における民族意識の覚醒を、現在の国際状況と関連付けて考察している。 c: 19 世紀のアジアにおける列強の勢力圏を示す地図や図版を適切に活用している。 d:列強による勢力拡大や清末から辛亥革命までの基本的な知識を身につけている。	・授業中の取り組み ・発問評価 ・ワークノート ・定期考査

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
2学期	帝国主義とアジアの民族運動	・帝国主義と列強の展開 ・世界分割と列強対決 ・アジア諸国の改革と民族運動	○	○ ○	 ○ ○	 ○	a:欧米における軍事力の強化と、日本のアジアへの勢力拡大について、関心を持って学習しようとしている。 b: 第2次産業革命と各国の帝国主義の動きを関連づけて考察している。 c: 列強の海外植民地面積比較図やカリブ海諸地域の地図などを適切に活用している。 d: 帝国主義の特質と帝国主義時代における欧米列国の国内問題およびアジア諸国の民族運動に関する基本的な知識を身につけている。	・授業中の取り組み ・発問評価 ・ワークノート ・定期考査
	二つの世界大戦	・第一次世界大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ・アジア・アフリカ地域の民族運動 ・世界恐慌とファシズム諸国の侵入 ・第二次世界大戦	○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a: 第1次世界大戦時の外交や戦間期の国際協調、第2次世界大戦の経過や拡大について、関心を持って学習しようとしている。 b: 2つの大戦後の国際社会の方向性を、様々な観点から比較し、まとめている。 c:2つの大戦の戦線を示す地図や、世界恐慌中の写真や図版等を適切に活用している。 d:2つの大戦の経過や影響やヴェルサイユ・ワシントン両体制の問題点等について、基本的な知識が身についている。	・授業中の取り組み ・発問評価 ・ワークノート ・課題プリント ・定期考査

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
3学期	冷戦と第三世界の独立	・戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立 ・米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興 ・第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り ・石油危機と世界経済の再編	○ ○	○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a:冷戦体制の成立と展開や第三世界諸国における危機、先進国の社会変容や途上国の工業化について、関心をもって学習しようとしている。 b:東欧諸国の社会主義化などの東側陣営の動向と、アメリカの経済的援助や「対ソ封じ込め」といった東側陣営の動向を比較し、まとめている。 c:ドイツ・ベルリンの分割図や、第二次世界大戦後の諸地域の地図、様々な国際共同体の形成過程を示した図版等を適切に活用している。 d:戦後の世界秩序の形成や冷戦体制の確立から「雪解け」までの展開、第三勢力の動きなどについて、基本的な知識を身につけている。	・授業中の取り組み ・発問評価 ・ワークノート ・課題プリント ・定期考査
3学期	現代の世界	・社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展 ・途上国の民主化と独裁政権の動揺 ・地域紛争の激化と深刻化する貧困 ・現代文明の諸相	 ○	○ ○ ○	○ ○	 ○ ○	a: 新たな地域紛争や経済格差、貧困問題など現在の諸地域の情勢について、関心を持って学習しようとしている。 b:現代文明の課題を多角的に考察し、「多文化主義」や「共生」といった思想を探究している。 c: インターネットや新聞から国際社会の課題に関する情報を収集し、活用している。 d: 地域紛争や経済格差、貧困問題と紛争解決や軍縮の試みに関する基本的な知識を身につけている。	・授業中の取り組み ・発問評価 ・ワークノート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。